

えに町民の皆様はじめ、各種機関、団体の御協力の賜と、厚く御礼を申し上げます。
 三十周年を迎えるに当り、過去の足跡を振り返り、又、将来の発展を期して新しい展望をひらく決意を深くするものであります。
 この記念すべき年を区切りとして、更なる発展をするよう町長を中心として、皆様と共に前進することをお約束して、ご挨拶と致します。

目 次

発行のことば	久万町長 河野 修	
発行にあたって	久万町議会議長 佐伯正俊	
第一編 自然		
第一章 町の概観	三
第二章 地 形	八
一 久万高原	八
二 山と川	九
第三章 地 質	二〇
一 中央構造線と石鎚山系	二〇
1 三波川帯	二〇
2 石鎚山第三系	二一
3 久万町の地質の要約	二二
二 久万町の地下資源	二三
第四章 土 壤	二四
一 田畑の土壌	二四
1 明神地区	二四
第五章 気 候		
一 久万町の気候の特色	二七
1 地形と気候	二七
2 久万町の天気と気候	二七
1 気 温	二七
2 日照時間	二八
3 降水量	二九
4 風向と風力	三〇
5 天気と気候	三二
二 森林の土壌	三五
1 褐色森林土壌	三五
2 火山灰土	三五
第六章 植 物		
一 植 物	三四
1 分 布	三四
2 三 坂	三四
3 皿ヶ嶺	三五
4 大除城址	三六
5 名勝「菅生山」	三七
6 笛ヶ滝公園・三島神社ほか	三八
7 イヨス山	三八

8	桂ヶ森	六
9	井内峠・白猪峠	六
10	古岩屋・岩屋山	六
11	帰化植物	六
二	動物	三
1	分	三
2	昆虫類	三
3	鳥類	三
4	その他	三

第二編 歴史

第一章	岩陰遺跡と出土品	七
一	上黒岩岩陰遺跡	七
1	出土品	七
2	縄文時代の上黒岩の生活	七
二	久万町内の出土品	七
1	町内の縄文土器	七
2	久万文化	七

第二章 菅生山大宝寺と伊予すだれ

一	菅生山大宝寺	七
二	古代の道	七
三	伊予すだれ	七

第三章 大除城と大野氏

一	大除城主大野氏と久万山	七
1	鎌倉時代の小田・久万郷	七

九	幕末における久万山	六
2	名野川農民一揆	六

第五章 現代における久万町の歩み

一	久万山騒動(明治四年)	一〇〇
1	当時の世相	一〇〇
2	久万山騒動概況	一〇〇
3	明治維新	一〇五
二	久万凶荒予備組合	一〇五
1	備荒貯米の必要	一〇五
2	久万山民衆の由来	一〇六
3	組合の変遷	一〇六
4	組合管理	一〇〇
5	組合の事業	一一
6	大正三年久松伯の登山	一一
三	土佐街道	一一
1	以前の土佐街道	一一
2	四国新道建設の機来る	一一
3	土佐街道建設に着手	一一
4	新道開さく工事の進行	一一
5	関新平知事	一一
6	その他の功敵者	一一
四	日清・日露と郷土	一一
1	日清戦争	一一
2	日露戦争	一一
五	大正期	一一
1	明治天皇崩御	一一

第四章 藩政時代の久万

一	概 要	一〇
1	戦国の久万山	一〇
2	村役人	一〇
3	年 貢	一〇
4	御 廻 領	一〇
二	四国遍路と久万山道	一〇
三	久万山農民のくらし	一〇
四	享保の飢饉と久万山	一〇
五	久万山騒動(寛保元年)	一〇
六	内ノ子騒動(寛延三年)	一〇
七	霜夜塚と久万の俳人たち	一〇
八	土州池川・名野川農民逃散と大宝寺	一〇
1	池川紙すき一揆	一〇

第三編 民俗文化

六	第二次世界大戦と郷土	一三
1	満蒙開拓義勇軍	一三
2	戦後の生活	一三
3	終戦下の郷土	一三
4	戦後のあゆみ	一三
5	合併後のあゆみ	一三

第一章 村落社会の構造

一	村のつきあい	一四
二	氏 神	一四
三	隣	一四
四	若連中と子ども組	一四
五	同族関係	一四
六	身分的呼称	一四

第二章 衣食住の移り変わり

一	衣 生 活	一七
1	衣 服	一七
2	はきもの	一七

- 二 食生活 二九
- 1 たべもの 二九
- 2 炊事道具 三〇
- 三 住生活 三三
- 第三章 労働とならわし 三五
- 一 農家経営とならわし 三五
- 1 年貢(上納米)と隠し田 三五
- 2 年貢と折願 三五
- 3 荒子・雑仕 三五
- 4 子守りと労働 三五
- 二 農耕とならわし 三五
- 1 水田とならわし 三五
- 2 畑作とならわし 三五
- 3 山林とならわし 三六
- 4 その他のならわし 三六
- 第四章 年中行事 三五
- 一 月 三五
- 二 月 三六
- 三 月 三六
- 四 月 三六
- 五 月 三六
- 六 月 三六
- 七 月 三六
- 八 月 三六
- 九 月 三七

- 一〇 月 三七
- 一 一月 三七
- 一 二月 三七
- 第五章 伝説と昔ばなし 三七
- 一 伝説 三七
- 二 昔ばなし 三七
- 第六章 民謡と俗信 三六
- 一 労働歌 三六
- 二 祝歌ほか 三六
- 三 わらべ歌 三六
- 四 迷信・俗信・まじない 三六
- 第七章 方言 三六
- 一 伊予方言のあらまし 三六
- 二 久万地方で主に使われていた方言 三六
- 第八章 風俗儀礼(人の一生) 三六
- 一 産育 三六
- 二 一人前 三六
- 三 婚姻 三六
- 四 死・喪 三六
- 第九章 芸能伝承 三六
- 一 浄瑠璃・歌舞伎 三六
- 二 万才 三六
- 三 獅子舞い・わり 三六

- 四 盆おどり 三七
- 五 子どもの遊び 三九
- 第一〇章 民間信仰 三九
- 一 信仰形態 三九
- 1 共通性を有する信仰 三九
- 第二章 神社・仏閣 三八
- 一 神社 三八
- 二 地域独特のもの 三九
- 三 仏閣 三九
- 四 その他の信仰 三九
- 五 信仰の移り変わり 三九
- 第二章 文化財 四〇
- 一 文化財の概要 四〇
- 二 各文化財 四〇
- 三 史跡 四〇
- 四 名勝地 四〇
- 五 記念物 四〇
- 六 未指定のもの 四〇
- 第四編 産業経済 四〇
- 第一章 人口と集落 四〇
- 一 維新前の人口 四〇
- 二 明治以後の人口 四〇
- 三 第二次世界大戦後の人口動態 四〇

- 四 産業別人口動態 三七
- 五 最近の人口動態 三七
- 第二章 農業 三七
- 一 概要 三七
- 1 明治維新以後 三七
- 2 第二次世界大戦当時 三七
- 3 終戦後の農政 三七
- 4 新しい農政 三七
- 二 農用地の開発 三六
- 1 徳川時代〜明治初期 三六
- 2 明治後期〜昭和初期 三六
- 3 戦中〜戦後 三六
- 4 農道開設事業 三六
- 5 耕地整理事業 三六
- 三 久万地方農産物の推移 三六
- 1 史実にみられる農業生産 三六
- 2 穀物中心に移る農業 三六
- 3 商品化農業の展開 三六
- 四 農業生産物流通 三六
- 1 米 三六
- 2 蚕 三六
- 3 三椏 三六
- 4 木炭 三六
- 5 葉たばこ 三六
- 6 高原野菜 三六

五 畜産 樹

7 果樹 三二

1 牛 三三

2 馬 三三

3 野尻市 三七

4 小家畜 三三

5 年次別家畜頭羽数 三五

6 肉用牛の繁殖センター 三七

7 肉用牛センター 三六

六 農地改革 三九

1 久万町における農地制 三九

2 農地改革の発足 四〇

3 農地委員会の誕生 四〇

4 農地改革の展開と実績 四三

5 農業委員会 四三

6 米の生産調整 四五

七 開拓史 三五

1 失業対策として始まった開拓 三五

2 地域開拓計画 三九

3 開拓管農の移り変わり 三九

4 開拓今後のあり方 四〇

八 農業災害 六一

1 農作物災害 六一

九 戦後の農業政策の転換 六一

1 新農山漁村総合対策事業 六一

2 農業構造改善事業 六三

三 新農業構造改善事業 三七

4 第三期山村振興農林漁業対策事業 三七

5 農家高齢者の創作館 三九

6 農村地域トータルライフ向上対策事業 三〇

一〇 海外移住 三八

一一 久万町農業の実態と展望 三五

第三章 林業 三九

一 林業総合調査と林業構造改善 三九

二 上浮穴郡林業振興協議会と育林技術体系の策定 三九

三 原木市場の開拓 四六

四 久万町木材流通合理化審議会発足 四六

五 林業教育 四九

六 婦人林業教室 四九

七 久万材にポタン材 五〇

八 中核林業振興地域育成事業 五〇

九 峰越林道開通 五〇

一〇 久万町製材業流通懇話会の発足 五〇

一一 雪害 五三

一二 除間伐緊急対策事業 五三

一三 ふるさとの森事業 五三

第四章 商工業 五三

一 合併前の商工業の概要 五三

二 合併後の商工業の概要 五七

第五章 観光

一 概況 一〇

二 名勝 一一

1 三坂峠 一一

2 皿ヶ嶺連峰県立自然公園 一一

3 笛ヶ滝公園 一一

4 古岩屋 一三

三 観光施設 一四

1 ふるさと旅行村 一四

2 四国のみち 一五

3 観光リンゴ園 一六

4 ゴルフ場 一六

5 スキー場 一七

6 美術館・久万公園(第六編 教育 参照) 一八

四 観光協会 一八

五 イベント 一九

1 ふるさと旅行村 一九

2 納涼まつり 一九

六 特産物(名産、土産物) 二〇

1 イヨスダレ 二〇

2 茶 二〇

3 饅頭 二〇

4 でんご人形 二〇

5 椎茸 二二

6 磨き丸太 二二

7 桃太郎トマト 二三

第六章 農業協同組合

七 今後の課題 一三

8 ビーマン 一三

9 大根 一三

10 その他 一三

一 農業協同組合の変遷 一四

1 産業組合と農業会 一四

2 農業会と農業協同組合 一四

3 久万町における農業協同組合の発生とその発展 一五

二 農協合併 一五

1 久万町内五農協の合併(第一次合併) 一五

2 上浮穴郡内の合併(第二次合併) 一五

三 組合の概況 一六

1 久万農協運営機構 一六

2 主な施設の設定状況 一七

3 合併後における主な事業の伸長状況 一七

4 主要農産物取扱高の推移 一八

第七章 森林組合 一八

一 合併後の歩み 一九

二 合併後の大型事業 一九

1 国産材加工施設 一九

2 木材市場 二〇

3 磨丸太事業 二〇

4 木工プラザ、クマシヤ 二二

第八章 商工団体

- 一 商工団体の概要…………… 四〇〇
- 二 久万町商工会の沿革…………… 四〇〇
 - 1 久万実業懇談会…………… 四〇〇
 - 2 久万実業倶楽部…………… 四〇〇
 - 3 久万商工会…………… 四〇〇
 - 4 久万町商工会…………… 四〇〇
 - 5 久万町商工協同組合…………… 四〇〇
- 三 その他の商工諸団体…………… 四〇〇
 - 1 久万町商店連盟…………… 四〇〇
 - 2 社団法人愛媛県建設業協会上浮穴支部…………… 四〇〇
 - 3 その他の商工団体…………… 四〇〇
- 四 金融機関…………… 四〇〇
 - 1 古来よりの金融…………… 四〇〇
 - 2 法定金融…………… 四〇〇

第九章 交通運輸（通信運輸）…………… 四〇〇

- 一 道路交通運輸の概況…………… 四〇〇
- 二 道路の変遷…………… 四〇〇
- 三 交通・運輸事業のうつりかわり…………… 四〇〇
 - 1 国道三七九号、三八〇号改良促進期成同盟…………… 四〇〇
 - 2 国道三三三号線整備促進期成同盟…………… 四〇〇
 - 3 上尾峠久万線改良促進期成同盟…………… 四〇〇
- 四 郵便通信事業の歴史と現状…………… 四〇〇
 - 1 久万郵便局…………… 四〇〇

- 2 直瀬郵便局…………… 四〇〇
- 3 畑野川郵便局…………… 四〇〇
- 4 父二峰郵便局…………… 四〇〇
- 5 NTT久万営業所…………… 四〇〇

第一〇章 地域改善…………… 四〇〇

- 一 地域改善対策事業とは…………… 四〇〇
- 二 久万町における事業の実施状況…………… 四〇〇

第五編 行政・財政

第一章 行政区画の変遷

- 一 藩政時代…………… 四〇三
- 二 明治以後…………… 四〇五

第二章 新久万町の発足

- 一 町村合併…………… 四〇〇
 - 1 町 財 政…………… 四〇三
- 二 行政事務機構の変遷…………… 四〇八
- 三 新久万町の重点施策…………… 四〇九
 - 1 合併一〇年の歩み…………… 四〇九
 - 2 合併二〇年の歩み…………… 四〇九
 - 3 合併三〇年の歩み…………… 四〇九
- 四 久万町内の官公署施設…………… 四〇九
 - 1 久万町役場…………… 四〇九
 - 2 愛媛県久万庁舎…………… 四〇七
 - 3 久万町民館…………… 四〇八
 - 4 国民宿舍古岩屋荘と上浮穴郡老人憩の家…………… 四〇九

第三章 選 挙

- 一 選挙制度の変遷…………… 四一三
- 二 維新当初の選挙…………… 四一三
 - 1 区長・戸長・村長時代…………… 四一四
- 三 国の選挙…………… 四一七
- 四 地方選挙…………… 四一八
 - 1 県 議 会…………… 四一八
 - 2 区 会…………… 四二〇
 - 3 町 村 会…………… 四二二
 - 4 久万町議会…………… 四二四
 - 5 町 村 長…………… 四二六
- 五 選挙管理委員会の役割…………… 四二九
 - 1 選挙管理委員会…………… 四二九
 - 2 有権者の推移…………… 四三〇
 - 3 各種選挙の投票率等…………… 四三〇
- 六 明るい選挙運動の取り組み…………… 四三三
 - 1 日本の政治倫理化運動の歴史…………… 四三三
 - 2 久万町明るく正しい選挙推進運動…………… 四三三
 - 3 久万町明るい選挙推進協議会の誕生…………… 四三三
 - 4 久万町明るい選挙推進協議会規約とその働き…………… 四三三
 - 5 明日の久万町を語る会の開催…………… 四三六
 - 6 常時啓発運動…………… 四三六

第五章 財 政

- 一 地方税制の移り変わり…………… 四一六
 - 1 戦 前…………… 四一六
 - 2 戦 後…………… 四一九
- 二 久万町の町税について…………… 四二〇
 - 1 賦課徴収実績…………… 四二〇
 - 2 町税の決算等の状況…………… 四二〇

第六章 治 安 と 消 防

- 一 藩政時代の治安…………… 四二七
 - 1 治安の概要…………… 四二七
 - 2 郷 簡…………… 四二七
- 二 維新後の治安…………… 四二九
 - 1 久万警察署の沿革…………… 四二九
- 三 消防団の変遷…………… 四三六
 - 1 消 防 組…………… 四三六
 - 2 消 防 団…………… 四三七
 - 3 消 防 団…………… 四三〇

第四章 税 制

4 合併後における火災及び災害発生一覧表……………七七

5 常備消防……………七九

四 災害史……………五九三

1 久万町の災害について……………五九三

2 災害史……………五九三

第七章 保健衛生……………五九五

一 診療制度……………五九五

1 公立診療所……………五九五

2 民間診療施設……………六〇三

二 伝染病舎……………六〇五

1 避病舎……………六〇五

2 統合伝染病棟の火災・新築……………六〇六

三 国民健康保険……………六〇七

簡易水道事業……………六〇九

四 簡易水道事業……………六〇九

1 久万簡易水道……………六〇九

2 地域小水道……………六〇九

五 疾病及び伝染病……………六四四

1 概要……………六四四

2 伝染病……………六四五

3 疾病……………六四五

六 環境衛生……………六六七

1 ごみ処理……………六六八

2 し尿処理……………六六九

3 火葬場……………六七〇

七 保健事業……………六七〇

第八章 福利・厚生……………六六六

はじめに……………六〇〇

1 地区診断……………六三三

2 現行の保健事業……………六三三

3 保健センター……………六三三

一 国民年金……………六六六

1 拠出制国民年金……………六六六

2 無拠出制国民年金……………六六七

二 社会福祉事業……………六六九

1 沿革……………六六九

2 生活保護……………六七〇

3 児童福祉……………六七一

4 母子福祉……………六三六

5 老人福祉……………六三七

6 身体障害者福祉……………六三三

7 戦争犠牲者の援護……………六四四

8 公営住宅……………六四四

9 地域改善事業等……………六四四

10 社会福祉協議会……………六四六

11 共同募金……………六五一

三 施設福祉対策……………六五一

第六編 教 育……………六七〇

第一章 学校教育……………六七〇

一 藩政時代……………六七〇

二 明治維新以後……………六六八

1 明神地区……………六六八

2 久万地区……………六六八

3 畑野川地区……………六七〇

4 直瀬地区……………六七〇

5 父二峰地区……………六七〇

6 実業補習学校……………六八四

7 青年訓練所……………六八六

8 青年学校……………六八七

9 上浮穴高等学校……………六八八

10 上浮穴郡尋常小学校准教員養成所……………六九三

11 育英事業……………六九四

三 太平洋戦争終戦以後……………六九六

1 新制中学校……………七〇〇

2 学校教育の充実……………七〇三

3 幼児教育……………七〇九

第二章 社会教育……………七一一

一 太平洋戦争終戦まで……………七一一

1 青年団……………七二二

2 国防婦人会……………七二二

三 太平洋戦争終戦後……………七二二

1 久万町立学校給食センター……………七二八

2 公民館……………七三〇

3 青少年教育……………七四〇

4 婦人教育(婦人会)……………七四八

第三章 教育委員会……………六八六

一 地方教育行政制度の変遷……………六八六

二 教育委員会の発足……………六八七

三 公選制から任命制へ……………六八八

四 久万町合併後の教育委員会……………六八八

第四章 町立久万美術館……………六八八

一 美術館建設の動機……………六八八

二 建設への経過……………六八九

三 施設の特徴……………六九〇

四 施設の概要……………六九二

五 収蔵される作品……………六九三

六 今後の計画と対応……………六九三

七 結びにかえて..... 六六

町村長・助役・収入役・議会議員名簿

菅生村 村長・村会議員名簿

明神村 村長・助役・収入役・村会議員名簿

父二幡村 村長・助役・収入役・村会議員名簿

川瀬村 村長・助役・収入役・村会議員名簿

久万町 町長・助役・収入役・町会議員名簿

新久万町 教育長・議長・副議長・常任委員長・副委員長

付 録

久万町誌年表..... 九七

戦没者名簿..... 一〇三

あとがき..... 一〇三

久万町誌増補改訂版編集委員名簿..... 一〇五

参考図書一覧表..... 一〇七

和 暦 表

第七編 人 物

一 斉 秀 和 尚..... 八七

二 山之内 仰 西..... 八八

三 江 西 蔵 山..... 八八

四 高 野 幸 治..... 八九

五 梅 木 源 平..... 九〇

六 井 部 栄 範..... 九〇

七 桧 垣 伸..... 九〇

八 船 田 一 雄..... 九〇

九 宇 都 宮 音 吉..... 九三

一〇 石 田 佐 々 雄..... 九六

一一 高 橋 精 一 郎..... 九六

一二 田 中 執..... 九八

一三 井 部 栄 治..... 九八

一四 齊 院 敬 和..... 九八

久万町の将来

久万町の将来の発展を願って..... 久万町長 河野 修

一 はじめに..... 九三

二 人づくり..... 九三

三 産業の振興..... 九三

四 観光開発..... 九三

五 生活環境の整備..... 九三

六 福祉の向上..... 九三

第一編 自然